

第二十四回 帝國議會 兩院協議會議事速記錄第一號

(地方稅制限ニ關スル法律案)

明治四十一年三月二十六日(木曜日)午後零時四十七分開會

貴族院協議委員

議長 伯爵 正親町實正君
副議長 伯爵 廣澤金次郎君

子爵 牧野忠篤君
男爵 小澤武雄君
男爵 石黒忠憲君
男爵 目賀田種太郎君
男爵 高崎安彦君
柴田家門君
下條正雄君
鎌田榮吉君

衆議院協議委員

議長 元田肇君
副議長 佐々木正藏君

濱名信平君
多田作兵衛君
武市庫太君
神前修三君
望月長夫君
岡田治衛武君
駒林廣運君
淺野陽吉君

(抽籤ニ依リ元田肇君議長席ニ著ク)

○議長(元田肇君) ソレテハ抽籤ノ結果、私ガ議長席ニ著キマス……是カラ開會イ
タシマス

○淺野陽吉君 私ハ貴族院側ノ御方ニ少シ希望イタシタイト思ヒマスノハ、私ノミテ
ハナカラウト思フ事柄アリマス、ソレハ私ドモ衆議院テ決議ラシマシテ、其上ニ第一
條ト第二條ト、第三條、第五條ノ第一項ニ付イテノ御修正ノ御趣意ヲ貴族院ノ御方
カラ御説明ヲ一應承シテ見タイト思ヒマス、其要點ヲ御説明ヲ願ヒマス

○伯爵正親町實正君 唯今、淺野君カラノ御請求ニ依リマシテ一應貴族院ノ修正
ノ大體ノ趣意ヲ述ベマス、貴族院ノ趣意ハ第一カ此原案ニ依リマスト云フト地租、營
業稅、所得稅共ニ今日ノ課稅全部ニ附加スルト云フ案ニナツテ居リマスガ、貴族院ノ
考テ見マス、此原案ト云フモノハ元々稅法整理ノ案ニ基イテ組立ラレタ案デアアル、其
稅法整理案ト云フモノニ依リマスレバ地租ノ如キハ宅地價ナドハ大ニ修正ラサレ、ソレ

ハドウ云フ譯カト云ヘバ、現在ノ地價ト云フモノハ段々不公平ニナツテ居ルガ爲ニ、其不
公平ヲ矯正シテ現在適當ナ地價ニ改メタイト云フ精神カラ成立シタモノデアリマス、ソレ
ト又營業稅、所得稅ニシテモ、或ハ所得稅アレバ下級ノ稅ヲ低クスルトカ、或ハ比較
的、上ノ方ノ稅ヲ高クスルトカ云フヤウナ方カラ改正ラシマシタ、其根柢ニ依ツテ考ヘマス
ルト此稅法案ノ成立ツト成立タザルトニ付イテハ隨分、附加稅ノ上ニ影響ヲ及ボス譯テ
アル、然ルニ其根柢タル稅法案ト云フモノガ、地租ハ政府ガ撤回シ、其他ハ衆議院ニ
於テ否決セラレタ譯デアラフ、既ニ根柢ヲ失ツタ以上ハ自ラ此案モ消滅スル譯デアラウ、
ソレ故ニ若シ此案ラシテ成立タシメムトスレバ、今日現在ヲ基礎トシテヤルガ至當デア
ル、加之又稅法整理ガ出來ヌシテ今日ノ不公平ナル地價ナリ宅地價ノ上ニ於テ先ツ平均
ニ附加スルト云フコトニナレバ高キモノハ益、高クナリ、廉キモノハ益、廉クナルト云フ譯デ、
詰リ不公平ニ不公平ヲ重ネル譯ニナリマス、ソレテ今日先ツ以テ非常特別稅ノ現在ノ
儘ニ置クガ穩當デアラウ、併ナガラ其現在ノ儘バカリニ置クト云フコトニナルト、如何ニモ
財源ニモ乏シイ譯デアアルカラ、現在ノ非常特別稅ノ定率ノ附加稅ノ率ヲ幾分カ茲テ酌
酌シテ緩ミ付ケルコトガ必要デアラウ、サウシテ見レバ政府ノ原案ニ依ツテ之ヲ定率ノミ
ニ課スルト云フ率ヲ變ヘタナラバ丁度政府原案ト恰モ同ジカラ并ノ數字ニ復スル譯デア
ル、サウスレバ現在ノ限度ヨリ凡ソ一千万圓ノ増額ニナル譯デアアル、ソレダケノ緩ミ付ケ
タナラバ先ツ以テ今日地方費トシテハ十分デアラウト云フ、先ツ大體ガサウ云フ意味デゴ
ザイマス、ソレテ第五條ノ一項ヲ削除イタシマシタガ、是ハ第一項ダケノ十分ノ四ト云フ
ダケノ金額ヲ概算シマスレバ約七百万圓クラ并ノ金額ニナリマス、兩方合セマスト二千
七百万圓ダケ現行ノ制限ヨリ増加スルト云フコトニナル、然ルニ斯ノ如ク餘リ一時ノ増
加ト云フモノハ宜シクナイ、ソレテ此十分ノ四ト云フモノハ成ルホド内務大藏兩大臣ノ
許可ヲ受ケケレバ出來ヌコトニナツテ居ルケレドモ、併ナガラ斯ウ云フコトニ、既ニ法律ニ
於テ十分ノ四以内ハ課稅ヲ得ラレルト云フコトガ出テ居ル以上ハ、遂ニ此限度マテ達シ
易イコトニナリハセヌカ、サウシテ見ルト詰リ是ハ特別ナ必要ト云フ箇條ニ制限外トアルガ、
其實殆ド制限内ト同一視シテモ宜イト云フ位ニ見テ置カケレバナラヌト思ヒマス、サウシ
テ見ルト先ツ二千七百万圓ノ増加ニナルノデアアルカラ、餘リソレハ過重ノ増加デアアル、詰
リ、今日ハ成ルホド地方ニ於テモ事業ヲ發達シテ財力ヲ養成スルノハ無論必要ナ場合
デアアリマスケレドモ、併ナガラ唯餘リ又火急ニ緩ミ付ケ過ルト云フト無用ナ事業ヲ起
スト云フ傾キニナリ、從テ一般人民ノ尙ホ此上ニ負擔ヲ増スト云フヤウナ虞ガアル、故
ニ先ツ以テ今日ノ所テハ是位ノ限度ニ止メテ置イテ、即チ此法案ト云フモノハ稅法整理
ガ早晚近キ將來ニ於テ制定サレルコトデアラウシ、其時ニ更ニ此案ニ適當ノ修正ヲ加
テモ差支ナカラウ、又サウスレバ地方ニ果シテソレ程ノ費用ガ要ルカ否ヤト云フコトモ分ラ
ウシ、又一ニハ其中ニ追ミト稅法整理モ付クコトデアラウ、ソレ故ニ先ツ第五條ノ一項ダ
ケハ削除シテ宜シカラウ、併ナガラ此第二項ニ至リマシテハ是ハドウモ已ムヲ得ヌ場合
デアアルカラシテ、是ダケハ存シテ置イタラ宜カラウ、第一項ハ寧ロ削除シタ方ガ宜カラウ、大

體斯ウ云フ精神テ修正ヲ加ヘマシタノデアリマス、尙ホ御分リニナリマセヌ所ハ……

○神前修三君 私ハ一應御尋ネシマスガ、此第五條ヲ削除サレシマシテ精神ニ付イテハ今御話ノゴザイマシタニ付テ略テ了解イタシマシタガ、此第五條ノ第一項ヲ削除イタシマシテ二項ヲ存シテ置キマスト云フト、非常ノ場合ニ無論制限外ニ依テ或ハ債務ヲ消却スルトカ、又復舊ノ事ヲ爲ストカ、傳染病ノ豫防トカ云フコトガ出來マスデアリマスガ、此第五條ヲ全ク取リマス云フト、事實ニ於テ斯様ナコトガ生ズルデアリマス、堤防カ餘ホド危クナシテ來タ場合ニ之ニ修繕ヲ加ヘテ置キマスレバ、大水害ナドヲ未然ニ防グコトガ出來マスガ、奈何セム一方テハ制限ガ定マテ居ル、故ニ制限外ノモノヲ徵收スルコトガ出來ナイ、サリトテ一方テハ此修繕ヲシマセヌケレバ、眼前ニ大ナル水害デモ起ルコトガアルデアラウト云フヤウナ場合ニモ、全ク豫防ノ工事ノ如キ出來ナイト云フヤウニナリハシナイカト云フ憂ガゴザイマス、其點ニ付イテ一應伺フテ置キタイ、ソレカラ此第二項中ニゴザイマスニ號テゴザイマス、此三號ニ「水利ノ爲費用ヲ要スルトキ」トゴザイマス、之ヲ御修正ニナリマシタノガ「永久ノ利益トナルヘキ水利事業ノ爲費用ヲ要スルトキ」ト斯ウデゴザイマス、此「永久ノ利益トナルヘキ」ト云フ事柄ハ全ク公共團體ノ水利費ノ經常費ヲ御見込ニナラズモノデゴザイマセウカ、經常費ハ御見込ニナラズモノデアリマセウカ、此邊ヲ御尋ネ致シタイ、元來此非常特別稅ノ制定ノ際ニ當リマシテ、政府ガ非常特別稅法ヲ提案イタシマシタ當時ノ政府案ニハ「水利ノ爲費用ヲ要スル」ト云フコトハデゴザイマセヌ、所ガ是ハ衆議院ノ委員會テ此コトヲ入レタデアリマス、ソレハドウ云フコトデアアルカト申シマス、各公共團體即チ水利組合ト云フ團體デアリマス、今全國テ二千二百幾ラト云フ團體ガアリマスガ、其團體全部テハアリマセヌガ、或ル地方ニ於キマシテハ全ク此經常費ヲ制限外ニ取ラスコトヲ致シマセヌト米作禁止ト云フコトニナリマス、一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ私ハ和歌山縣ノ者デゴザイマスガ、和歌山縣ノ如キハ決シテ此修正ニナリマシタヤウナ制限テ置キマシタナラバ、全ク米作ハスルコトガ出來マセヌ、ト申シマスノハ現在地租ハドノクラ井出シテ居ルカト云ヘバ、地租ハ一段歩ニ付イテ一圓二三十錢カラ四五十錢マデト云フコトデアリマスカラ、此水利組合費ガ年々要リマスコトガ地租以上デアアル、大抵二圓、一圓七八十錢、又甚シキ多額ニナリマス所ハ三圓五十錢、四圓、五圓、斯ウ云フノガ先ツ一番水利費ニ掛リマス、是ハ經常費デゴザイマス、若シ此經常費ヲ仕拂ハナケレバ、先ヅ和歌山縣デ申シマスレバ大抵水田ノ米作ハ先ヅ廢メナケレバナラヌト云フノガ一ツ、ソレカラ之ヲ隣縣ノ事實ニ照ラシテ見マスレバ、近時此畑作ト云フモノガ收穫ガ誠ニ少イ、ドウシテモ畑地ト云フモノハ引合ハナイト云フコトニ付イテ米作ノ大ニ擴張スルコトヲ一般ニ心配ヲサレテ居リマス、テ日本ノ畑地ガ米作ガ出來ナイカト云ヘバ、決シテ米作ガ出來ナイノデゴザイマセヌシテ、水モ隨分アル國デゴザイマスカラ、其水ノ便利ヲ計リマスレバ畑地デモ隨分米作ガ出來ルヤウニナリマス、之ヲ一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、大阪府ノ堺ノ近傍デアリマス、御承知ノ如クアノ近傍ハ非常ニ畑ノ多イ所デアアル、然ルニ大和川ノ上流ニ於キマシテ蒸氣「ボンプ」ヲ仕掛ケマシテ此水利ヲ開キマシテ、サウシテ灌溉ノコトヲ致シマス、大變米作ガ出來ルト云フコトデ、近時大阪府ニ於テハ一般ニ此事ハ餘ホド擴張セラレツ、アリマス、サウシマス、此灌溉費用ニ付イテ大抵一圓五十錢カラ二圓ト云フモノガ經常費トシテ掛ルノデアリマス、

是ハ實ニ國家ノ爲ニ喜ブベキコトト思フノデアリマス、ト云フノハ追々米ノ產出ガ多クナリマスコトハ大ニ我國ノ喜ブベキコトデアラウト存シマス、ソレ故ニ此水利組合費ノ如キヲ制限テ決メテ置キマス、全ク其擴張スベキ米作ノ擴張モ出來ナイノミナラズ、從來ノ米作ナドヲ致シテ居ル者モ爲ニ廢メナケレバナラヌト云フヤウナコトガ出來ルヤウナコトニナルデアリマスガ、此御修正ニナリマシタ永久ノ利益ト云フ事柄ハ經常費ノ普通溝路ヲ浚濬イタシマシテ又排水ノ費用、即チアチラコチラ、水ノ費用ノ出ルモノニ付イテ、ソレダケ掛カルモノモ矢張り永久ノ利益トシテ御見込ニナルノデアリマス、左様ナ經常費ハ此部分ニ這入ラスノデアリマス、一應承リタウゴザイマスガ、唯今申シマシタ兩件ニ付イテ伺ヒタウゴザイマス

○伯耆廣澤金次郎君 私ハチヨット此協議會ノ順序ノコトニ付イテ議長ニ御相談イタシマスガ、前例ニ依リマス、貴衆兩院ニ於テ一人ツ、此議決ノ理由ヲ説明スルコトニナラシメテ居リマス、コチカラハ今、正親町伯ガ説明ニナリマシタガ、ドウゾ衆議院ノ委員ノ中ノ御方カラ衆議院ノ議決ノ理由ヲ一應御説明ニナラシメテ行ツタ方ガ、進行上、簡便デモアリマセウカラ、サウ願ヒタイと思ヒマス

○議長(元田肇君) ソレデハ衆議院ノ方ノハ神前君カラ願ヒマセウ

○神前修三君 左様ナラバ、此衆議院ノ方ノ贊成シマシタ理由ヲ一應申上ゲマス、現在ゴザイマス所ノ非常特別稅ト區別ヲシテ附加稅ヲ課ケルト云フコトハ、是ハ町村ニ於キマシテハ非常ニ困難デゴザイマス、故ニ町村役場ハ此附加稅ヲ實施イタシマスルコト云フニ至ツテハ、殆ド一人ノ筆生ガ要ルト云フ手數ガ掛リマス、御承知ノ如ク徵稅ヲ致シマスノハ一回デゴザイマセヌ、數回ニ分レテシテ居リマス、爲ニ總テ帳面ヲ一ツニスル、又殊ニ田舎ノ役場ナドニ行キマス、非常特別稅ハ是ダケ課ケラレ、或ハ縣稅ニ付イテ之ヲ課ケルヤウナコトニ至リマシテハ誠ニ手數ガ掛リマス、之ヲ全國積算イタシテ見マスルト、一万二千有餘ノ町村ニ澤山ニ此手數ノ掛カルコトヲ考ヘマスレバ、ナカク、大キナ費用ガ徵稅費ニ掛ルコトニナリマス、此原案ハ即チ現在ノ稅ニシテ課ケルト云フコトハ誠ニ適當ナル原案デアルト云フコトデ、衆議院ハ此原案ニ同意イタシタデアリマス、ソレカラ又衆議院ハ此原案ニ對シマシテ第五條ノ四號ヲ一ツ加ヘマシタ、此四號ヲ加ヘマシタノハ傳染病豫防ノ爲ニ費用ヲ要スルトキ、是ハ實驗モゴザイマシタ故ニ、衆議院ハ此四號ヲ加ヘマシタ、ソレハドウ云フコトデアアルカト申シマス、此兩三年前カラ「ベスト」ト云フモノガ流行ヲ致シマシタ、其「ベスト」ノ流行ノ際ニ當リマシテ早ク豫防ノ手續ヲナサムト致シマシテモ、非常特別稅法ノ規則ニ於キマシテハ二十六年以上ノ負債ノ元利銷却、ソレカラ復舊ノ事ト水害ノ爲ニ到底無クテハ政府ノ許可ヲ得テ多額ノ費用ヲ掛ケルコトガ出來マセヌ故ニ、既ニ私ドモノ縣ニ於キマシテ湯淺町、一町二十萬圓以上「ベスト」ノ爲ニ費用ガ掛ツタコトガアリマス、ソレハ何故ニ掛ツタカト云ヘバ「ベスト」ハ御承知ノ如ク鼠ガ此病氣ヲ傳染セシムルモノデアリマスカラ、此豫防ニ付イテハ非常ニ費用ガ要ルノデゴザイマス、然ルニ町村役場ニ此金ヲ拵ヘテ早ク豫防ヲセヌナラヌト云ウタ所ガ、其町村役場ノ町村議員ト云フ者ハ我々ハ法律以外ノ決議ハ出來ナイト云ウテ村會議員等ガ職ヲ辭シタリ、或ハ出席ヲセナシスル、ソレカラ町長ガ彼レ此豫防費ノ心配モ致シマシテ、金融ヲ爲サント致シテ銀行ヤソレノヘ掛合ヒマスケレドモ、法律上、返済ノ途

ノ無イ所へハ金ヲ貸サヌ、殊ニ公共團體ノ返濟ノ途ノ無イ所へハ金ハ出セナイ、斯ウ云フコトニナリマシタ、故ニ其當時知事アツタ清棲伯ガ餘ホド心配サレマシテ、色々ナコトヲシテ金ヲ拵ヘテ豫防ノ手續ヲ致シマシタガ、ソレガ爲ニ「ベスト」ガ蔓延シテ湯淺町一町ヲ殆ド十萬圓ノ金ヲ使ハナケレバナラヌコトニ陥リマシタ、故ニ此傳染病豫防費ト云フモノハ近來「ベスト」三付イテ非常ニ金ガ要ルノデアリマスカラ、是ダケハ是非此法律以外ニ許可ヲ與ヘルト云フコトニ致シテ置カナケレバイカナイト云フ理由カラ此第四號ヲ加ヘマシタ次第アゴザイマス、其他ハ前申上ゲマスルヤウナ次第ア、衆議院ノ方ハ原案ニ同意ヲシタノデアリマス

(發言ノ許可ヲ求ムル者アリ)

○議長(元田肇君) チョット御諮リヲ致シマスガ、唯今ノデ一應ハ宜シウゴザイマスガ、先キニ既ニ神前君カラ質問ガ出テ居リマスカラ……
○望月長夫君 今、衆議院デ可決ニナリマシタ趣意ヲ御述ベニナリマシタガ、衆議院ノ意見デナイカト思フ點ガゴザイマスルノデ、其點ヲ一言ダケ、チョット辯ジテ置キタイト思ヒマス

○議長(元田肇君) 御述ベヲ願ヒマス

○望月長夫君 私ガ今辯ジテ置キタイト言ヒマスルノハ、衆議院ハ殆ド原案ハ餘リ修正シナイデ、即チ原案ノ趣意ニ於ケル今日ノ儘デハ如何ニモ地方ノ財源ガ窮屈デアツテ地方必要ノ事業ヲ爲スコトモ出來ズ、必要ノ費用ヲ支辨スルコトモ出來ヌカラ、其弊ヤ必要ノ仕事ガ出來ズ、動モスレバ或ハ高歩ノ債務ヲ負ヒ、或ハ動モスレバ法律ノ範圍以外ノ協議費ナドニ逃ゲテ出ル、即チ監督ノ届カナイ協議費ナドニ逃ゲテ出ルト云フ弊ガ實際ニ存シマスル爲ニ稍、此地方ノ財源ノ緩ミヲ付ケテヤルト云フコトノ必要ガアル、且ツ此點ニ於テ原案デ許與セムトスル所ノ程度ガ大抵相當アル、斯ウ云フ趣意デ矢張り原案ヲ是認シタルデアルト私ハ信ジテ居リマス、ソレデ唯今ノ神前君ノ謂ハユル非常特別稅ト、ソレカラ普通ノ謂ハユル定率ト別々ノ附加稅ヲ課スルコトガ出來ル、非常ニ手數ガ掛カル、ソレガ困難デアルカラ、ソレヲ改正スル必要ガアル爲ニ原案ヲ是認シタ趣意ガ、餘リ重イ趣意デハナクテ、今私ノ申スノハ地方ノ財源ハ現在ノ儘デハ窮乏デアル、却テ弊ヲ生ズル、且ツ原案ノ付ケタ緩ミガ大抵適當デ、且ツ必要デアルト云フノデ通過シタルデアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味デ要スルニ衆議院ハ矢張り原案ニ多ク修正ヲ加ヘナカッタ私ハ信ジテ居ル、ソレカラ序デニ小サイコトデ、動モスルト小理窟ト御聽キニナルカ知レマセヌガ、第五條第二項ノ原案ニハ「左ニ掲グル場合ニ限リ」トアツタノヲ、貴族院ニ於テハ殊更ニ「左ニ掲グル場合ニ於テハ」ト斯ウ御修正ニナツテゴザイマスルガ、是ハ法律家ノ言葉デ言フト原案ノヤウニ「左ニ掲グル場合ニ限リ」ト云フノハ謂ハユル限定ノ言葉デ必ズ必然適當スル場合デナケレバナラヌ、ソレヲ殊更ニ「於テハ」ト改メラレタノハ謂ハユル俗ニ戻ル「於テ」デアルガ、左ホド疑ヒヲ生ジマセヌ、「限リ」トアルノヲ殊更ニ「於テ」トナリマスルト、サウナルト法律家ノ限定ノ場合カ例示ノ場合ニナルノデ、之ニ匹敵スル場合若クハ殆ド之ニ同一、同様ノ事情ニ認メラレベキ場合合ニモ敷衍シテ解釋ガ出來ル意味ニナルノデアリマスル、左様ノ意味マデニ御改メニナツタノデハナク「ニ限リ」ヲ「ニ於テ」ニ御改メニナツタノニハ何カ御意味ガゴザイマセウカ、此解

釋ハ餘ホド何ガ違ッテ參リマスカラ、一應其點ハ……
○議長(元田肇君) チョット御待チ下サイ、衆議院側ノ説明ヲ一人ガシテ、神前君ガシテ又アナタガ補足ナサツテ……

○多田作兵衛君 私ハ第五條ノコトデ少シ述ベテ置キタウゴザイマス、此案ヲ贊成シマシタ理由、是ハ貴族院側ノ御方ニ於キマシテモ戰後ノ經營トシテ教育ナリ其他方般ノコトヲ整理シナケレバナラヌ、從ツテ費用ヲ要スル爲ニ御修正ニナツテ金高ヲ削ッテアルヤウデゴザイマスガ、是ハ程度ノ見ヤウデアリマスガ、私ノ五條ヲ見テ居リマス所デハ、ドウシテモ政府ノ今御修正ニナリマシタダケノ金高デハ、第一、町村デ差當リ費用ヲ要シマスモノハ此四年間ノ小學ハ六年ニナリマシテ、其經營ニ付キマシテモ隨分金ヲ要スルノデアリマシテ、ソレデ、ドウシテモ第五條ノ大藏大臣、内務大臣ノ許可ヲ受クルト云フ途ヲ置イテ置キマセヌト、ソレナラ平等ニ金ガ要ルカト申スト、村ニ依ッテ許可ヲ受ケヌデモ宜イ所ガ多クゴザイマスル、村ニ依ッテハドウシテモ範圍ダケハイケヌト云フ場合ガゴザイマスル故ニ、ドウシテモ第五條ノ第一項ヲ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受クルト云フ途ヲ開イテ置キマセヌト、必至ト差支ヘル場所ガアリマス、ソレデ原案ニ贊成ヲ致シマシタ、ドウ云フ事柄、ドウ云フ事柄ト云フコトノ御質問ガゴザイマスレバ御答ヘ致シマス、第五條ノ第一項ニ贊成イタシマシタ理由ヲチヨット……

○神前修三君 私ガ原案ニ贊成イタシマシタ、衆議院側デ贊成イタシマシタコトヲ先キニ少シ申落シマシタ所ヲ、唯今望月君ガ大抵補ハレマシタガ、原案ヲ修正イタシマシタ趣意ノ中デ、今一ツ申上ゲタイノハ御承知ノ如ク義務教育年限ヲ延バサレマシテ、其年限ヲ延長イタシマスルト云フト、又學校ノ方モ準備ヲシナケレバイケマセヌノデ、地方ノ方デハ多ク益ノ費用ガ要ルコトニナリマスル、故ニ是非トモ原案ノ如クニ致シタイト云フコトデゴザイマス、ソレヲ添ヘテ置キマス

○議長(元田肇君) 付キマシテハ如何デゴザイマセウカ、唯今ノ神前君及望月君ノ質問ニ續イテ他ニ御質問ガアリマスカ

○岡田治衛武君 是カラ質問ニ入りマスカラハ、チヨット政府委員……

○議長(元田肇君) 御互ニ質問ガアツテ、辯明ガアツテ兩方カラ御述ベニナツタラ如何デセウ

○伯鷲正親町實正君 何カ御答ニ對シテ御質問ガ起ルノデスカ

○岡田治衛武君 此案ノ精神ニ付イテ御尋ネシテカラ、ソレカラ雙方ノ意見ヲ述ベルヤウニ……

○議長(元田肇君) 質問ガアツテ御答ニナラウト云フノニ……前例ニ依レバ兩方カラ贊成シタ理由ヲ述ベルコトニナル、サウシテハドウデアラウ、其通ニ致シ、ソコデ前ノ質問ガ殘ッテ居ル五條ノ修正ノ理由竝ニ同條ノ三號

○岡田治衛武君 ソレデ御答ニナツテ宜イノデアゴザイマスガ、私ハ其前ニ一ツ政府委員ニ御尋ネシタイコトガアリマスル、極簡單ナコトデアリマスルガ、御尋ネシテ置キタイ

○淺野陽吉君 此案ハ委員會ニ於テ僕等ハ耳ニ飽クホド聽イテ居ル

○岡田治衛武君 唯今貴族院ノ修正トシテ正親町伯鷲ヨリ御述ベニナリマシタコトニ於テ、本案ハ詰リ稅制整理ト相伴ウテ居ル、稅制整理ニ付イテ此案ガ起ッテ出タモノ、

如クニ御話ガゴザイマシタ、如何ニモ御尤モナノテ、税制整理ニ伴フコト大ナルハ申スマテモゴザイマセケレドモ、本員ノ思フ所デハ、此税制整理ガナクモ、政府ニ於テハ此地方税制限ヲ改正スル必要ガアルト云フ精神ヲ御提出ニナツタコトト本員等ハ今マテ考ヘテ居ツタ、要スルニ税制整理ニ伴フコトハ無論デアルガ、税制整理ガナクモ、此制限ハ改正ヲシナケレバナラヌト云フ御趣意デアラウト思ヒマス、果シテサウデアアルヤ否ヤト云フコトヲ確メテ置キタイト云フモノハ此案ノ……

○議長(元田肇君) 理由ハ要リマセヌ

○岡田治衛武君 此案ノ精神ニ關シマスカラ、ソレダケヲ確カメテ置キタイ

○政府委員(吉原三郎君) 御答ヘ致シマスガ、唯今御話ノ如ク是ハ税制整理ガアリマシテモ、アリマセヌデモ、矢張り是ハ制限ヲ緩メルト云フコトハ必要ニ考ヘマス、ソレ故ニ昨年モ提出イタシマシタヤウナ次第デアリマス

○伯翁正親町實正君 先刻、神前君カラノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、此五條ノ一項ヲ削除シタニ付イテハ、不便ヲ感ズルト云フ點ニ付イテハ、主トシテ矢張り水利上ニ差支ヘルト云フヤウナ御話ガアツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、サウデアリマスガ

○神前修三君 サウデゴザイマス

○伯翁正親町實正君 ソレカラ第三號ニ「永久ノ利益トナルヘキ水利事業」ト云フコトヲ附ケ加ヘタノハドウ云フ意味ヲ附ケ加ヘタカ、水利組合ナドハ主トシテ經常費ノ支辨ヲ要スルモノデアル、若シ此中ニ經常費ガ含まヌト水利組合ノ事業ニ大ナル差支ヲ生ズル、ソレハドウ云フ譯デアアルカ、斯ウ云フ御尋ネノヤウニ思ヒマスガ

○神前修三君 左様デス

○伯翁正親町實正君 ソレデ、此五條ノ一項ヲ削除イタシマシタノハ、前刻モ申上デマス通り、餘リ過分ノ費用ヲ……餘リ緩ミ過ギル譯デアアルカラ、先ツ以テ制限以内デ是ダケノ餘力ヲ取ツテ置ケバ、總アノ費用ヲ辨シ得ルデアラウ、然シテ此三號ノ「永久ノ利益トナルヘキ水利事業」ト入レマシタノハ、唯水利ノ爲ニ費用ヲ要スルト云フコトニナルト、誠ニ種々ナ些細ナル經常費ノヤウナ如キモノモ、場合ニ依ツテハ是ヲ支辨スルヤウナ弊モ生ズルコトデアアルカラ、是ハ些細ナル經常費ナドハ無論、制限内テ支辨シテ行ク、尤モ水利組合ノ費用ト云フモノハ、制限内ト雖モ、別ニ是ハ此地租テ申セバ百分ノ四十分云フモノハ別ニ得ラレルコトデアアルカラ、水利組合ハ經常費テ支辨シテ其他ノコトハ其他ノ制限内テ宜シイ、ソレデ此所ニ舉ゲタ特別ノ場合ハ是ハ成ルベク……勿論永久ノ利益ト云フノハ是ハ解釋上ニ互ルコトデアリマスカラ、狹ク解釋スルノト、少シ廣ク解釋スルノトハ當局者ノ手心テ解釋ニ依ルコトデゴザイマスカラ、此修正ノ精神ハ餘リ些細ノ經常費ヲ此費用テ支辨スルノハ宜シクアルマイト云フ意味ニ過ギナイデアリマス、ソレカラ望月サンノ「於テハ」ト云フコトニ付イテ御尋ネヲ續イテ御答イタシテ置キマスガ、是ハ矢張り深い意味ハ無いデアリマス、唯入レタ方ガ宜カラウト云フ、字句ノ何デアッテ、精神ニ於テハ別ニ變リハナイデアリマス

○神前修三君 モウ一ツ質問シタイト思ヒマス、第五條ノ三號ノ「永久ノ」ト云フコトニ付イテ唯今御説明ヲ承リマスレバ、一段歩四十錢ト云フコトニ致シデアリマスカラ、經常費ハ四十錢ヲ無論イケルデアラウト云フコトテ修正ヲセラレタト云フコトデゴザイマスガ、先キニ私が申上ゲタ如ク、一段歩ニ付イテ經常費ハ一圓五十錢モ二圓モ掛ッテ居リマスノハ全國中ニ幾ラモアリマス、此三千二百幾ラト云フ水利組合ノ中ニハ餘ホド澤山ゴザイマス、是ハ御承知ノ如ク米作ヲ致シマス爲ノ肥料ノ如キモノデゴザイマスカラ、假令一圓掛ッテモ二圓掛ッテモ三圓掛ッテモ地主ハ喜ンデ出スノデアリマス、若シ之ヲ出サヌケレバ水田ヲ作ルコトガ出來ナイ畑地ニナルト云フヤウナコトニ立至リマスノデ、ソレ故ニ非常特別税ノ制定セラレル當時ニモ水利ノ費用ハ無制限テ兩大臣ノ許可ヲ得レバ、ヤレルト云フコトニナツタト思ヒマス、此御修正ニナリマシタ所ヲ拜見シマスト云フト、唯今申上ゲタヤウナ一段歩ニ付イテ一圓五十錢モ二圓五十錢モ經常費ニ要ツテ居ル、米作ト云フモノハ全ク出來ナクナル結果ニナリマスノデ、之ニ付イテ何カ御考ガアレバ承リタイト思ヒマス

○伯翁正親町實正君 是ハ唯今申上ゲタ通りノ次第デゴザイマシテ、此制限内ノ、詰リ地租デアリマスレバ、其ノ他ノ公共團體」ト云フ所デ市町村ハ矢張り百分ノ四十デスカラ、水利組合ハ水利組合テ百分ノ四十ノ課税ヲ取レルコトデアリマスカラ、其範圍内テ差支ナカラウ、ソレカラ先刻申シ落シマシタガ、第五條ノ一項ヲ全部削ラレタ結果、例ヘバ堤防修築等ニ僅カノ費用ヲ掛ケレバ其堤防ガ防ゲル、然ルニソレヲ課税セラレヌ爲ニ非常ナ災害、水害ガアルト非常ナ出費ヲ要スル、其場合ニ非常ナ災害デモ出來ルトソレハ甚ダ不都合デアアルカラ、豫備ノ金ガ必要デアルト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、ソレハ勿論貴族院委員會ニ於キマシテモ其論ハアツタノデゴザイマス、又政府委員ガ頻ニサウ云フ答辨ヲサレタノデアリマス、ケレドモ多數ハ其必要ハ認メナイ、又サウ云フコトハ當局者ノ注意如何ニ依ツテ防ギ得ラレルコトデアラウカラ、必シモ是ガナケレバ出來ヌト云フ程ノコトハアルマイ、斯ウ云フ意味テ削除ニナリマシタ

○望月長夫君 私ハ幸ヒ文部大臣が見エテ居リマスカラ伺ヒタイノデスガ、要スルニ第五條ノ貴族院ノ修正ニ讓歩ヲ致シテ宜イカ否ヤト云フコトニ付イテ最モ懸念ヲ持ツノデアリマス、此地方ノ殊ニ市町村ナシカノ最モ制限外ノ賦課ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ最モ多ク際會イタシマスノハ、多クハ小學校ノ改築、修築或ハ新築ナント云フコトガ、最モ實際ニ遭遇スル場合ガ多クデアリマス、殊ニ義務教育年限ノ延長セラレタ場合ニ際會イタシテ居リマスケレドモ、此財源ガ最モ適切ナ必要ナコトニナラウト思フノデアリマスガ、唯今第五條ノヤウニ限定セラレ、第一項ガ無クナリマスト此場合ニ緩ミガ一切ツカヌコトニナラウト思ヒマス、文部大臣ニ於テハ特ニ此場合ヲ慮ツテ、第五條ヲ何トカシテ置カズトモ差支ナイト云フ御考デアリマセウカ、私ドモガ地方ニ居テ市町村長ナシカガ最モ苦シム場合ハ即チ唯今申ス教育側ノ學校ノ改築、修築、新築ナント云フ場合ニハ盛ニ困ルヤツナンデアリマスガ、之ニ對シマシテ文部大臣ノ御意見ヲ承テ置キタイデス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 私ハ此協議會ニ於テ機會ヲ得テ、發言ノ許可ヲ得テ教育上ノ關係ヲ一ト通り御話ヲ致シテ御審議ノ御參考ニ供シタイト希望シテ居ツタノデアリマス、然ルニ唯今望月君ヨリ五條ノコトニ付キマシテ特ニ教育上ノ關係ヲ御質問デアリマシタガ、私ノ最初カラ述ベタイト思ウテ居リマシタ所ヲ茲ニ述ベマスカラ、ソレニ依ツテ今ノ御疑問ハ氷解スルデアラウト思ヒマス、其積リテ御聽キテ願ヒマス、本案ノ出

マシテ沿革ハ既ニ昨年ニ溯テアルノデアリマシテ、是ハ諸君モ御承知ノ通りデアリマス、政府ニ於テ本案ノ改正ヲ企テマシタノハ行政全部ノ必要カラ起テ居ルノデアリマスガ、尙ホ其内容ニ付イテ申セバ、地方教育ノ施設上ノ必要ガ其原因ノ一ツヲ爲シテ居ルノデアリマス、既ニ申述ベタトハ思ヒマスルケレドモ、普通教育ハ今日ノ所デハ地方ノ財源ニ依テ經營イタシテ居リマスノデアリマス、他ノ國ノ如ク中央、國庫ヨリ地方教育費ニ向テ補助スルガ如キコトハ大體ニ於テハナイノデアリマス、テ普通教育ハ殆ド主義ニ於テモ亦實際ニ於テモ地方ノ負擔ヲ營ムコトニナツテ居ルノデアリマス、故ニ今日ノ場合ニ於テ國民ニ好學心ノ盛ニ起テ居ル場合ニ、其父兄ノ輿望ニ協フ爲ニ教育上ノ施設ヲ要スルコトニナツテ居リマス、其時期ニ於テ財源ヲ考ヘルコトガ大切デアツテ、今日ノ實情ニ顧ミマスルト夥多ノ地方ニ於テ既ニ制限アル爲ニ財源ノ極點ニ達シテ居ツテ、此上ノ増費ハ許サヌト云フ狀況ニナツテ居リマス、而シテソレ等ノ地方ニ於テモ好學心ノ盛ニナルコトハ同様デアツテ、全國一般ニ教育思想ハ發達シテ居ルト云ツテモ宜シイ有様デアリマス、然ルニ此制限アルガ爲ニ其父兄、即チ國民ノ子弟ノ教育上ノ望ヲ達スルコトガ出來ナイ境遇ニアルノデアリマス、今日ノ制度トシテハ若シ此輿望ヲ協ハシメ好學心ヲシテ實行ヲ遂ゲシムルニハ、ドウシテモ地方ノ財源ノ制限ヲ緩メルト云フ點ニ考ヘテ及ボサナケレバナラス、殊ニ此教育ニ付キマシテハ、昨年以來義務額ヲ制定シタコト少ナカラヌノデアリマス、制定或ハ改訂シタコトが少ナカラヌノデアリマス、單ニ其時々ニ地方ノ行政ノ狀況ニ依ツテ事ヲ企テル如ク、或ハ緩急上カラ云ハバ少シ延バシテモ宜イト云フ如キ意味デナク、法令ノ上デ既ニ是ハ地方ノ義務トナツテ居ル事業ハ少ナカラヌノデアリマス、教育ニ就イテ……其一二ノ例ヲ申上テ今申シタ事ヲ一層適切ニ明ニシタイト考ヘマス、昨年、四十年ノ勅令第二百十四號ニ於テ市町村ノ教育費補助、是ハ府縣費ノ負擔ニ係ルノデアリマスガ、百万圓ノ限度トシテ府縣ノ義務トシテ其百万圓ヲ以テ教員ノ加俸及住宅費ノ補助、此ニツニ向テ百万圓ヲ支出スル制度ヲ設ケタノデアリマス、是ハ義務トシテ地方ニ負ハセタノデアリマス、其目的ハ申スマデモナク教員ノ待遇ノ上ニ於テ今日ノ小學校教員ノ境遇ト云フモノハ、申スマデモナク薄給テ生活費ヲモ維持シ能ハヌ位デアツテ、誠ニ憫然ナル境遇デ殆ド一戸ヲ支ヘルニ足ラヌゲケノ俸給ニ甘ンシテ居ラナケレバナラス様ナ状態デアリマス、段々物價ハ高クナリ、又同様ノ境遇ニ在ル所ノ巡查其他ノ薄給者ニ付イテハ、ソレノ既ニ多少ノ緩ミガ付イテ居リマス、小學校教員ニ向テモソレ以上ノ必要ガアルト認メテ居リマス、其一端トシテ住宅費ノ補助及永年精勤ヲ致シタ者ニ金ヲ與ヘル如キ優遇ノ方法ヲ設ケタノデアリマス、是ハ申スマデモナク地方ノ義務ニナツテ居リマス、ソレカラ先刻段々御話ノアリマシタ通り小學校教員ニ關係スル點ハ義務教育ノ年限延長ノ事デアリマス、義務教育ハ二年延長ニナリマシタ、是モ矢張り地方ノ義務デアリマス、是ハ行政上ニ於テ多少地方長官ノ苦心ニ依ツテ斟酌ノ出來ル餘地ハアルノデアリマスガ、是モ最モ節約ヲ致シテ漸次ニ之ヲ實行スル、出來ルダケ經費ノ節減ヲ圖ツテ徐々ト其趣旨ヲ行フコトニ致シテ見マシテモ尙ホ七十萬圓近キ金ヲ要スルノデアリマス、ソレカラ又此延長ニ附隨イタシマシテ小學校教員……學級ガ殖エマシムカラシテ此増加イタシタ學級ヲ受テ教員ガ最モ必要ナル、然ルニ今日デモ既ニ小學校教員ハ不足ナル、其上ニ更ニ二箇年延長ノ爲ニ少カラヌ學級數ヲ要スルコトニナリマ

シタ、其學級ニ各受持ノ正教員ヲ要スル次第デアリマスガ、今日ノ師範學校ノ設備ニ於テハ其需用ニ應ズルコトハ、是ハ不可能デアリマスカラ、或ハ師範學校ヲ増設シ又ハ師範學校ノ定員ヲ増加イタストカ、其他ノ方法ヲ以テ實際運轉ノ付クダケノ増員ヲ圖ラナケレバナラスノデアリマス、ソレ等ノ費用ヲ概算イタシマスルト、ソレ等ノ費用ニ向ケル爲ニハ少クモ五六十萬圓ノ金ヲ要スルノデアリマス、ソレカラ尙ホ是ハ市町村ノ義務ニ屬スル事デアリマスガ、今日デハ小學校教員ノ俸給ト云フモノハ御承知ノ通り市町村ノ負擔イタスコトニナツテ居リマス、其市町村ノ義務ニナツテ居ル小學校教員ノ俸給ハ明治二十年ノ勅令第二號ヲ以テ制定シテアルノデ、其勅令ニハ市町村ノ負擔スベキ義務額標準ヲ示シテアルマス、是ハ十年前ノ制定デ、今日トハ餘程狀況ヲ異ニシテ居ル場合ニ於テ制定ニナツタノデアリマスガ、既ニ標準額ヲ超過シテ支出シテ居ル町村ガ少クナイノデアリマス、又四圍ノ狀況ニ顧ミテ教員ノ俸給ヲ増シタイト云フテモ此標準ガ限リガアル爲ニ、思フガ儘ニ増加スルコトノ困難ナ事情モアルノデアリマス、其邊ニ顧ミマシテ標準額ヲ昨年、勅令ヲ以テ上ボセタノデアリマス、是モ矢張り市町村ニ對シテハ義務トシテ標準額ヲ負擔スル義務ヲ帶ビサシヤウナ次第デアリマス、其標準額一パイニソレヲ町村ノ負擔スルトシテ見マスルト、現在教員給トシテ負擔イタシテ居リマス、總額ニ對シマスルト、大凡二百七十萬バカリノ増加ニナル、要スルニ事實ニ就イテ段々申上テ通リ、數項ニ涉ツテ何レモ義務ニナツテ居ルノデアリマス、先刻モ申ス通り其年々ノ狀況ニ依ツテ取捨スルト云フガ如キ餘地ハ比較的少イ所ノ縣若クハ町村ノ義務トシテ負擔サセテアル額ガ唯今申ス如キ數ニナルノデアリマス、總計イタシマスルト六百萬ソコノ二達スルト思ヒマスノデ、若シ此修正案ニシテ通過イタシヤウナコトガアレバ、此一方ニ於テ政府ニ於テ改正ヲ加ヘタ所ノ趣旨ガ、法令ノ精神ガ行ハレヌト云フコトニナルコトヲ心配イタスノデアリマス、勿論此御修正ノ通りト假定イタシマシテ、教員バカリニ向ケルトスレバ尙ホ餘地ガアルノデアリマスガ、教育ハ地方行政ノ一部分ノ事業デ、其重モナル一ツノ仕事ニ相違アリマセヌケレドモ、段々過日カラ陳述シテ居ル所ノ他ノ多端ノ事業ガアル、殊ニ今述べタル所ノ義務的ノ費用ガ六百萬ソコノ二達スルヤウナ次第デアリマス、今日ノ政府ニ於テハ是ハ已ムヲ得ヌ負擔ト考ヘマス、ドウゾ御協議ノ上ニ於テ御參考ニセラレムコトヲ希望イタシマス

○神前修三君 唯今、文部大臣ノ御説明ニ依リマス、義務的ニ教育ヲ負ハシタモノガ總計六百萬ホドニナルト云フ御計算デゴザイマスケレドモ、此教員ノ増給トカ又師範學校ノ増設トカ云フコトハ凡ソ御説明テ分リマシタガ、全國各町村ノ學校ヲ延長セヌケレバ此義務教育ノ延長ト云フコトハ出來マセヌ、凡ソ全國ノ小學校ノ學校ヲ延長シマスル概算カラ井ハ御計算ニナツテ居リマスガ、其點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣 男爵野田伸顯君 ソレハ先刻述ベテ置イタ積リデアリマス、延長ニ伴フ直接ノ最少額、出來ルダケ節約シテ此法令ヲ行フニ、凡ソ六十餘萬圓バカリデアリマス、是ハ二部教授等ノ如キ輕便法ニ依ツテ年限ノ延長ニ應ズルト云フ法ヲ執ツタノデアリマス、ソレカラ義務年限ノ間接ニ生シマス所ノ教員ノ増加、師範學校ノ増築、若クハ新設、ソレ等ノ費用ヲ見マス、五十萬圓ト云フコトヲ申シテ居リマス、尙ホ先刻申シ落シマシタガ、今日ノ所デハ中學程度ノ教員ノ中ニ無資格ノ教員ガ多クアルノデアリマス、

是ハ是マテハ教員ノ供給ノ不足ノ爲ニ已ムラ得ズ資格ノ無イ比較的劣等ナ教員マデモ已ムラ得ズ使用シテ状態デアリマスガ、段々供給モ豊富ニナツテ、教育ノ内容ヲ改良スルニ當テ、資格ノアル者ヲ成ルベク多數ヲ用井ルヤウト云フ訓令ナドモ出シテアリマス、其等ノ爲ニモ一方ニ於テハ尙ホ教員ヲ餘計ニ養成スル必要ガアルノデアリマスガ、其費用トシテ二十万バカリ計上シテ居ルノデアリマス、唯今申ス所ノ義務年限ニ付イテ直接間接ニソレヲ教員ノ改良ヲスルコトニ向ツテ、ドノ位井費用ヲ要スルカト云フト、極少ク見積リマシテ所テ百四十万バカリニナルノデアリマス

○男爵小澤武雄君 先刻正親町伯爵が修正ノ趣旨ヲ陳述イタシマシタガ、少シクソレヲ補足シテ置キマス、先刻岡田君ヨリ政府委員ニ御尋ネニナリ、政府委員ノ御答モアリマシタ、ソレハ此稅制整理ト全ク伴ハナクテハナラヌ所ノモノカ、サウデナイテモヤル積リデアアルカト云フヤウナ趣意デアリマシタ、所ガ政府委員ハ決シテソレト別ナモノデアアルト云フ御答モアッタデアリマス、是ハ貴族院ニ於テモ政府委員カラ同ク趣意ヲ以テ説明シテアツテ、趣旨ハ能ク承知シテ居ルケレドモ、貴族院ニ於テハ此整理ト伴ハナクテハ完全ナモノデアナイト云フコトヲ認メテ居ルノデゴザイマスカラ、政府ガ如何ニ辯シタ所ガ貴族院デハソレニ依ツテ此貴族院ノ意志ヲ變ヘルコトハ出來ナイ、ソレカラ是ハ又唯今文部大臣カラ縷々御話ガアリマシタ、是モ貴族院ノ委員會ニ於テ同ク事ヲ能ク承テ居ルガ、貴族院ノ見ル所ハ此修正ノ通りデ宜イト云フコトデアアル、今ノ文部大臣ノ御話ノ事ニ付イテ尙ホ此所デ申シテ置キタイノハ、是ガ修正ノ通りニナツテハ法令ノ趣意ガ行ハレナイ、又或ハ色々訓令ヲシテ居ルノモ行ハレナイカラ、是デイケナイト云フコトノ御話デアッタヤウデアリマスガ、貴族院ノ見ル所デハ此修正ノ範圍内ニ於テソレハ出來ルコトト見テ居ルノデ、元々此制限ノ法律ガ緩マヌ前ニ今マデノ通り行ハレナイヤウナ法令ヲ御出シニナルノガ間違ツテ居ル、又訓令ヲスルノモ間違ツテ居ルト云ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯デアアルカラ、ドウゾ其文部大臣ノ希望ヲ充タスヤウニシナクテハナラヌト云フコトデアアルナラバ、御尤モナコトデアアルカラ、定メテサウデアラウトハ思ヒマスケレドモ、法律ハ有ル上ニモツテ來テ之ガ御修正ノ通りデハイケナイト云フコトハ甚ダ不道理ナルコトデアアラウト思フ、要スルニ貴族院ノ見ル所ハ、此政府ノ原案ノ通りニシマスルト、二千七八百万圓ノ増加ニナリマスカラ、是ハ餘リ一時ニヤルノハ急激ニ過ギル、併ナガラ、イッソ之ヲ無クシテハ時勢ノ進歩ト共ニ色々ナ費用モ要リマスカラ、先ツ大凡一千萬圓グラ井ナコト止メテ置クガ宜カラウ、又他日稅制整理モアラウシ、ソレニ伴ツテ増ス時機モアラウガ、今日ハ大體ヲ一千萬圓グラ井ニ止メテ置イテ、其一千萬圓グラ井ノ範圍内ニ於テ政府ハ能ク之ヲ分配シテヤルガ差支ナイト云フ趣意ヲ以テヤッタデアリマス、意味ハ金額ノ方ハ一番ノ骨子ニナルノデアリマスカラ、是ガケラ申上ゲマス

○議長(元田肇君) 如何テゴザイマセウカ、兩院共ニ質問等ハ濟シテ居ルノデアリマスカラ、討論ニ移ッタラ如何デアリマス

○望月長夫君 實ハ既ニ時機ガ適シテ居ルカドウカモ多少懸念モゴザイマスルシ、且私カラ斯様ヲ提議ヲ致スコトハ或ハ僭越カモ分リマセヌガ、要スルニ此問題ハ單純ナ主義ノ問題デナクシテ遂ニ細カク討論ヲ盡シテ參リマスレバ數字ニ這入ツテ算盤ヲ以テヤラナケレバ遂ニ解決シナイ問題ノヤウニ思フ、此多數ガ寄ツテ互ニ討論ヲ致シテ居リマシテモ、

容易ニ運ビマセヌト思フノデアリマス、是ハ先例モ度々アルコトデゴザイマスカラ、此際ニ兩院ヨリ例ヘバ貴族院ヨリ……貴族院ノ委員ノ御人ノ中カラ三名ナラ二名ノ委員ヲ拵ヘテ下サイマシテ、其三名ハ貴族院ノ議長ガ御指名ニナリ、議長ガ之ニ御加ハリニナルト云フコトニナル、衆議院ノ方モ左様イタシマシテ即チ兩方ノ議長マデ合シテ都合ハ人ノ小委員會ト云フモノヲ拵ヘテ、ソコデ此人數ヲ少クシテ早ク意思ガ疏通シテ協議ガ纏マルト云フコトニナレバ、其協議案ヲ此總委員會ニ報告シテ、サウシテ御決定ヲ願フト云フコトニシタナラバ、餘ホド運ビガ早クハナイカト思ヒマスルガ、若シサウ云フコトニ御同意クダサルコトガ出來マスナラバ、相成ルベクハサウシタイ、是ハ去年カラノ問題デ、政府ニ質問ヤ何カモ盡サレテ居ル問題デアリマスカラ、ソシテ風ニシタ方ガ運ビガ早ク附キハシナイカト思ヒマスガ、相成ルベクハ、ドウカサウ云フ風ニナルヤウニ御贊成ヲ願ヒタイ

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ今ノ望月君ノ御説ニ贊成イタシマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(元田肇君) ソレデハ特ニ特別委員ヲ設ケルコトニ御異議ハ無イト見テ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(元田肇君) ソレデハ衆議院ノ方ハ私カラ指名イタシマス、多田作兵衛君、望月長夫君、岡田治衛武君

○伯爵正親町實正君 貴族院ノ方ハ私カラ指名シマス、小澤男爵、目賀田男爵、柴田君

○議長(元田肇君) ソレデハ暫時休憩イタシマス

午後一時五十五分休憩

午後四時十六分開會

○議長(元田肇君) ソレデハ休憩前ニ引續キマシテ協議會ヲ開キマス、特別委員ノ協議ノ經過ト並ニ結果ヲ述ベマス、種々雙方ノ御意見ガ御交渉ニナツタコトデアリマスルガ、細カイ事ハ略シマシテ大體ヲ申シマスルト云フト、衆議院ノ代表者ノ方カラハ第五條ノ貴族院デ削ラレタノヲ復活シテ戴キタイ、同ク第五條ノ二ノ修正ヲ取ツテ戴キタイト云フ御請求ガ出マシテ、貴族院ニ於カレテハドウシテモ聽居ケラレヌト云フノデ更ニ衆議院ノ方カラシテ十分ノ二ト云フコトニ五條ヲシテ御同意ヲ願ヒタイト申入レマシタ、貴族院ノ方デハ、ソレナラバ協議ヲ纏メル爲ニ十分ノ一マデハ讓歩シヤウト云フノデ段々交渉ヲシマシタガ、折合ガ付キマセヌノデ、更ニ衆議院ハ十分ノ一マデ讓歩イタシマセウカラ之ニ同意ヲ願フト云フコトニナリマシタ、貴族院ニ於カレマシテモ鄭重ニ御審議ニナツテ、衆議院ノ意志モ御分リニナツテ、段々議論ヲ盡シタ結果、再ヒ會合イタシマシテ、何分ソレデハ行カレヌカラ茲ハ十分ノ二ト云フコトニ同意ヲシテ、サウシテ第一條カラシテ二條マデノ間ノ率ハ修正ニナツタ内カラ五百萬圓取ツテ、サウシテ第五條ハ讓ラウ、アトノ殘リヲ前ノ部分ニ相當ニ分配スルト云フ事ニ致シタイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、之ニ付キマシテ衆議院側モ餘ホト熟慮ヲ致シマシテゴザイマスガ、其分ニ付キマシテハ讓歩スルトセヌニ拘ラズ分配ト云フコトハ日安ヲ立テルニ非常ニ困難デアル、ソコデ尙ホ熟慮イタシマシタ

○議長(元田肇君) ソレデハ休憩前ニ引續キマシテ協議會ヲ開キマス、特別委員ノ協議ノ經過ト並ニ結果ヲ述ベマス、種々雙方ノ御意見ガ御交渉ニナツタコトデアリマスルガ、細カイ事ハ略シマシテ大體ヲ申シマスルト云フト、衆議院ノ代表者ノ方カラハ第五條ノ貴族院デ削ラレタノヲ復活シテ戴キタイ、同ク第五條ノ二ノ修正ヲ取ツテ戴キタイト云フ御請求ガ出マシテ、貴族院ニ於カレテハドウシテモ聽居ケラレヌト云フノデ更ニ衆議院ノ方カラシテ十分ノ二ト云フコトニ五條ヲシテ御同意ヲ願ヒタイト申入レマシタ、貴族院ノ方デハ、ソレナラバ協議ヲ纏メル爲ニ十分ノ一マデハ讓歩シヤウト云フノデ段々交渉ヲシマシタガ、折合ガ付キマセヌノデ、更ニ衆議院ハ十分ノ一マデ讓歩イタシマセウカラ之ニ同意ヲ願フト云フコトニナリマシタ、貴族院ニ於カレマシテモ鄭重ニ御審議ニナツテ、衆議院ノ意志モ御分リニナツテ、段々議論ヲ盡シタ結果、再ヒ會合イタシマシテ、何分ソレデハ行カレヌカラ茲ハ十分ノ二ト云フコトニ同意ヲシテ、サウシテ第一條カラシテ二條マデノ間ノ率ハ修正ニナツタ内カラ五百萬圓取ツテ、サウシテ第五條ハ讓ラウ、アトノ殘リヲ前ノ部分ニ相當ニ分配スルト云フ事ニ致シタイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、之ニ付キマシテ衆議院側モ餘ホト熟慮ヲ致シマシテゴザイマスガ、其分ニ付キマシテハ讓歩スルトセヌニ拘ラズ分配ト云フコトハ日安ヲ立テルニ非常ニ困難デアル、ソコデ尙ホ熟慮イタシマシタ

○議長(元田肇君) 如何テゴザイマセウカ、兩院共ニ質問等ハ濟シテ居ルノデアリマスカラ、討論ニ移ッタラ如何デアリマス

○望月長夫君 實ハ既ニ時機ガ適シテ居ルカドウカモ多少懸念モゴザイマスルシ、且私カラ斯様ヲ提議ヲ致スコトハ或ハ僭越カモ分リマセヌガ、要スルニ此問題ハ單純ナ主義ノ問題デナクシテ遂ニ細カク討論ヲ盡シテ參リマスレバ數字ニ這入ツテ算盤ヲ以テヤラナケレバ遂ニ解決シナイ問題ノヤウニ思フ、此多數ガ寄ツテ互ニ討論ヲ致シテ居リマシテモ、

容易ニ運ビマセヌト思フノデアリマス、是ハ先例モ度々アルコトデゴザイマスカラ、此際ニ兩院ヨリ例ヘバ貴族院ヨリ……貴族院ノ委員ノ御人ノ中カラ三名ナラ二名ノ委員ヲ拵ヘテ下サイマシテ、其三名ハ貴族院ノ議長ガ御指名ニナリ、議長ガ之ニ御加ハリニナルト云フコトニナル、衆議院ノ方モ左様イタシマシテ即チ兩方ノ議長マデ合シテ都合ハ人ノ小委員會ト云フモノヲ拵ヘテ、ソコデ此人數ヲ少クシテ早ク意思ガ疏通シテ協議ガ纏マルト云フコトニナレバ、其協議案ヲ此總委員會ニ報告シテ、サウシテ御決定ヲ願フト云フコトニシタナラバ、餘ホド運ビガ早クハナイカト思ヒマスルガ、若シサウ云フコトニ御同意クダサルコトガ出來マスナラバ、相成ルベクハサウシタイ、是ハ去年カラノ問題デ、政府ニ質問ヤ何カモ盡サレテ居ル問題デアリマスカラ、ソシテ風ニシタ方ガ運ビガ早ク附キハシナイカト思ヒマスガ、相成ルベクハ、ドウカサウ云フ風ニナルヤウニ御贊成ヲ願ヒタイ

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ今ノ望月君ノ御説ニ贊成イタシマス

(贊成ト呼フ者アリ)

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(元田肇君) ソレデハ衆議院ノ方ハ私カラ指名イタシマス、多田作兵衛君、望月長夫君、岡田治衛武君

○伯爵正親町實正君 貴族院ノ方ハ私カラ指名シマス、小澤男爵、目賀田男爵、柴田君

○議長(元田肇君) ソレデハ暫時休憩イタシマス

午後一時五十五分休憩

午後四時十六分開會

